

朝来市景況調査書

令和4年度 第1四半期

(調査対象：令和4年4月～6月)

朝来市商工会

令和4年9月

【目次】

1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：37件）	5
②製造業（有効調査書数：49件）	7
③小売業（有効調査書数：43件）	10
④サービス業（有効調査書数：77件（内、飲食店：17件、宿泊業7件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R4. 4~6 月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	255	411	106	113
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	98	75	77	153
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	37	49	43	77

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

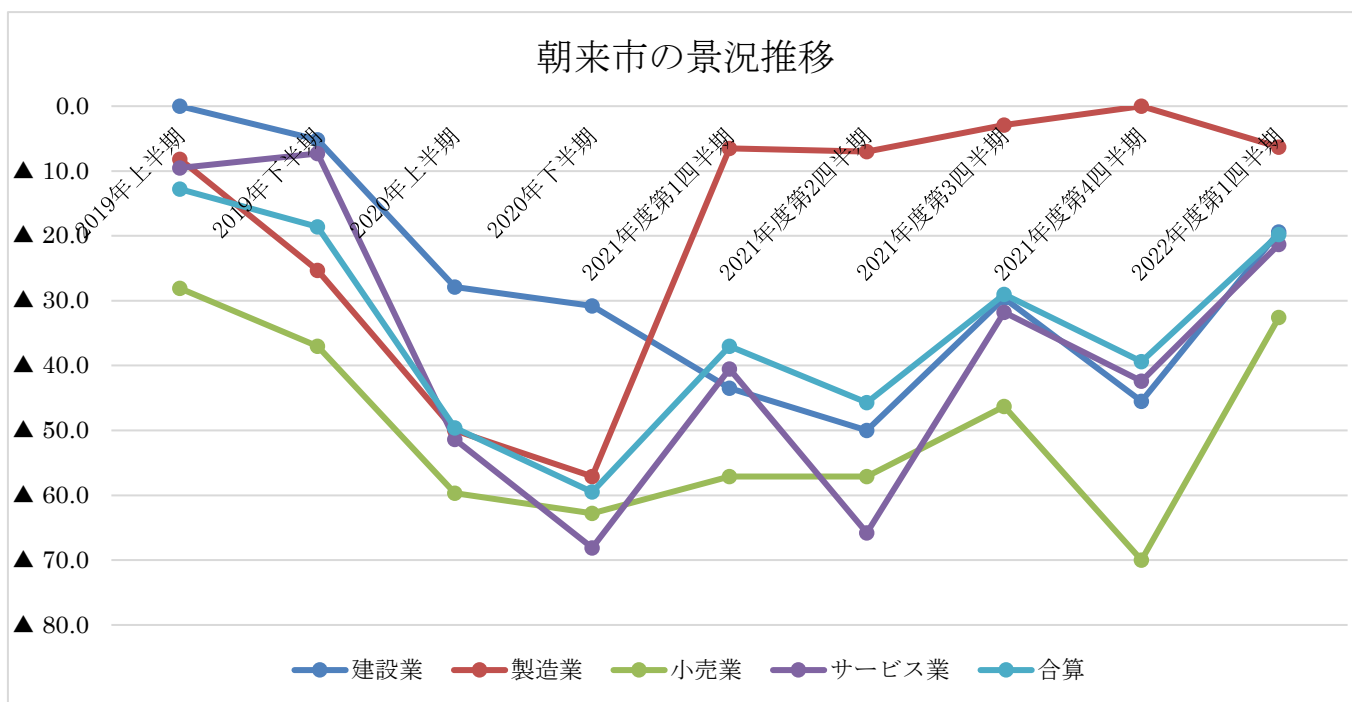
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2020年 下半期 (R2.7~9月)	2021年度 第1四半期 (R3.4~6月)	2021年度 第2四半期 (R3.7~9月)	2021年度 第3四半期 (R3.10~12月)	2021年度 第4四半期 (R4.1~3月)	2022年度 第1四半期 (R4.4~6月)
建設業	▲ 30.8 (39件)	▲ 43.5 (23件)	▲ 50.0 (22件)	▲ 29.6 (27件)	▲ 45.5 (22件)	▲ 19.5 (36件)
製造業	▲ 57.1 (64件)	▲ 6.5 (46件)	▲ 7.0 (43件)	▲ 2.9 (35件)	0.0 (39件)	▲ 6.8 (48件)
小売業	▲ 62.8 (81件)	▲ 54.3 (46件)	▲ 57.1 (52件)	▲ 46.3 (41件)	▲ 70.0 (40件)	▲ 32.6 (43件)
サービス業	▲ 68.1 (120件)	▲ 42.3 (78件)	▲ 65.8 (74件)	▲ 31.8 (66件)	▲ 42.4 (59件)	▲ 21.4 (75件)
合算	▲ 59.5 (304件)	▲ 36.8 (196件)	▲ 45.7 (191件)	▲ 29.0 (169件)	▲ 39.4 (160件)	▲ 19.8 (202件)

(※回答数 206 件、うち業況未回答 4 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

令和 4 年 4 月～6 月は県下で行動制限、移動制限などが行われておらず、小売業、サービス業は前年同時期、直前の四半期より改善の傾向となっています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：37件）

○昨年(4月～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内1件は未回答)

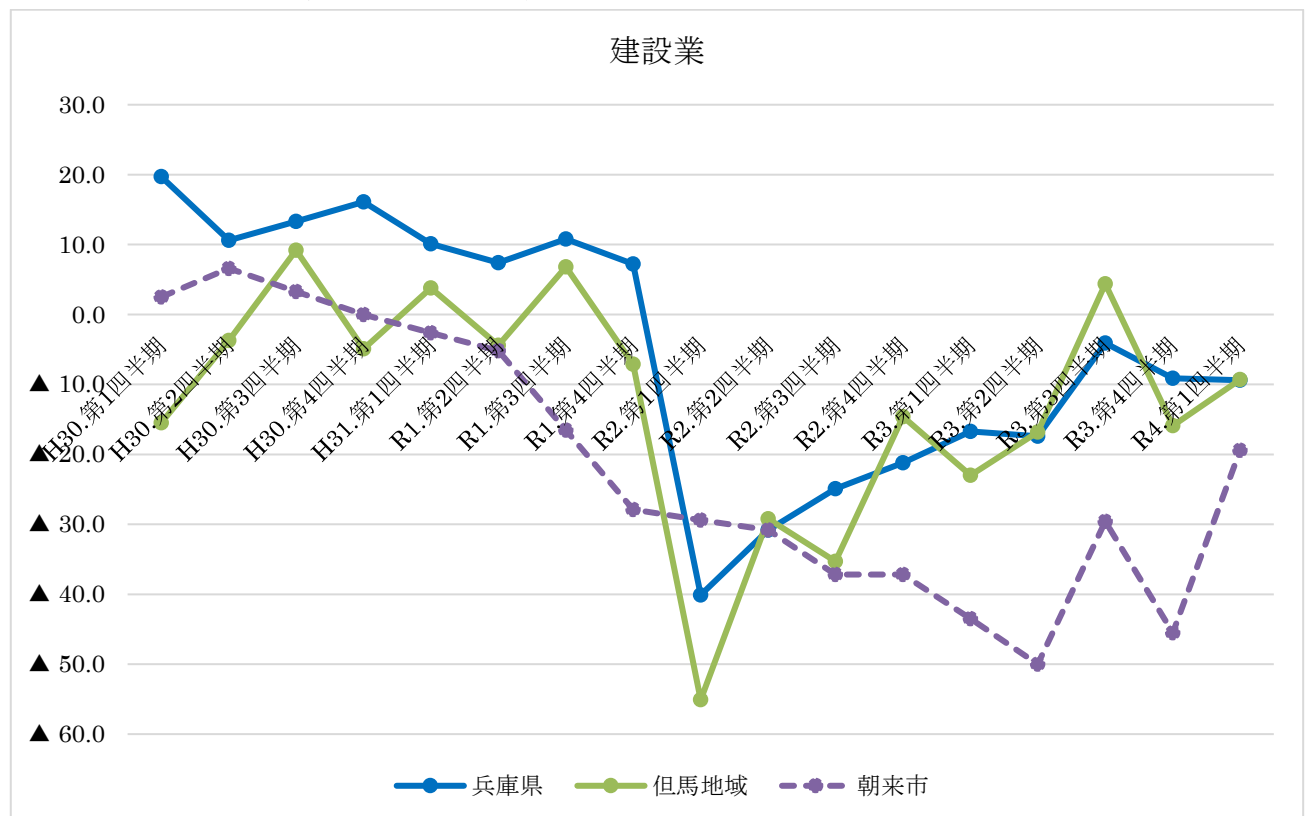
	件数	構成比
好転	4件	11.1%
不変	21件	58.3%
悪化	11件	30.6%

「不変」「悪化」と回答した事業者が多くなっていますが、D.I.値は改善傾向にあります。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲9.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲9.3ポイント
朝来市	▲19.5ポイント

全地域でマイナスのD.I.値となりましたが、前年同時期と比較し地域差は下がっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域、朝来市において、前回調査(R4.1～R4.3)と比較すると改善傾向となりました。前年同時期(R3.4～R3.6)と比較すると全地域で上昇しています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期
1 位	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	人件費の増加	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難

2021 年度第 3 四半期（R3.10～R3.12）の調査から継続し、「材料仕入れ単価の上昇」が最も多い経営課題となっており、原油高騰、物価高騰の影響が大きく表れています。2 位、3 位は雇用に関する項目が上位となっており、人材不足が懸念されます。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	13 件
現状維持	17 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：49件）

○昨年(4月～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内1件は未回答)

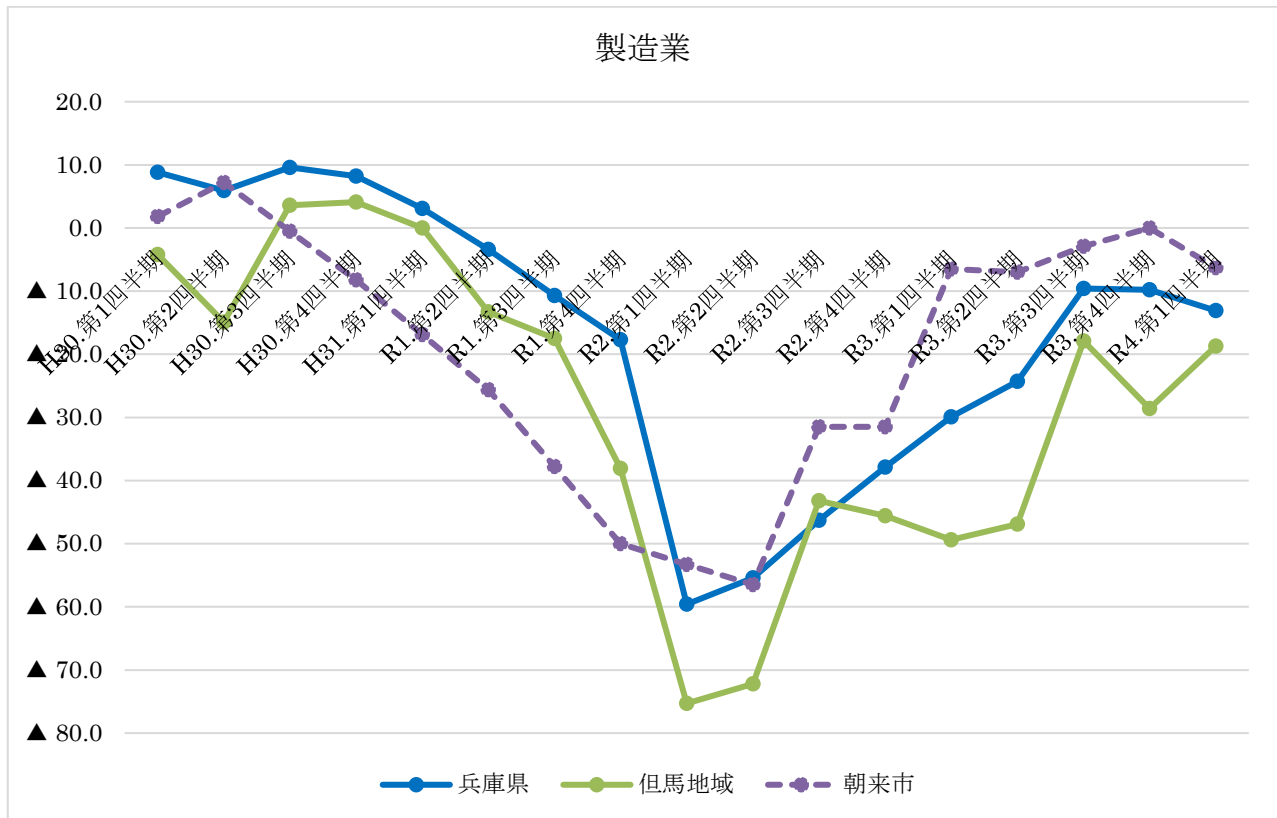
	件数	構成比
好転	11件	22.9%
不変	23件	47.9%
悪化	14件	29.2%

「不変」と答えている企業が最も多く、D.I.値は前回調査より若干のマイナスとなっています。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲13.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲18.7ポイント
朝来市	▲6.3ポイント

製造業においては朝来市が最も高いD.I.値を示しています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、但馬地域では前年同時期(R3.4～R3.6)よりD.I.値が高い数値となっています。他業種と比較し、新型コロナウイルス感染症の流行以降(R2.4)、回復しつつある企業が多いと考えられます。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	需要の停滞	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加

前年度の第 4 四半期調査と同様の課題が上位に出ており、建設業同様に原油高騰、物価高騰の影響が仕入や材料、経費に大きく表れていると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	22 件
現状維持	16 件
事業承継への取り組み	8 件
廃業を検討	4 件

※複数回答あり

・廃業を検討（4 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	3 件	25.0%
不変	6 件	50.0%
悪化	3 件	25.0%
D. I. 値	—	0 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	6 件	40.0%
不変	4 件	26.7%
悪化	5 件	33.3%
D. I. 値	—	6.7 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	1 件	14.3%
不変	4 件	57.1%
悪化	2 件	28.6%
D. I. 値	—	▲14.3 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。大きく変わったのは「食品関係の製造業」で、前年度は常にマイナスの数値を計上していましたが、今回の調査で初めてプラスの数値となりました。

③小売業（有効調査書数：43件）

○昨年（4月～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

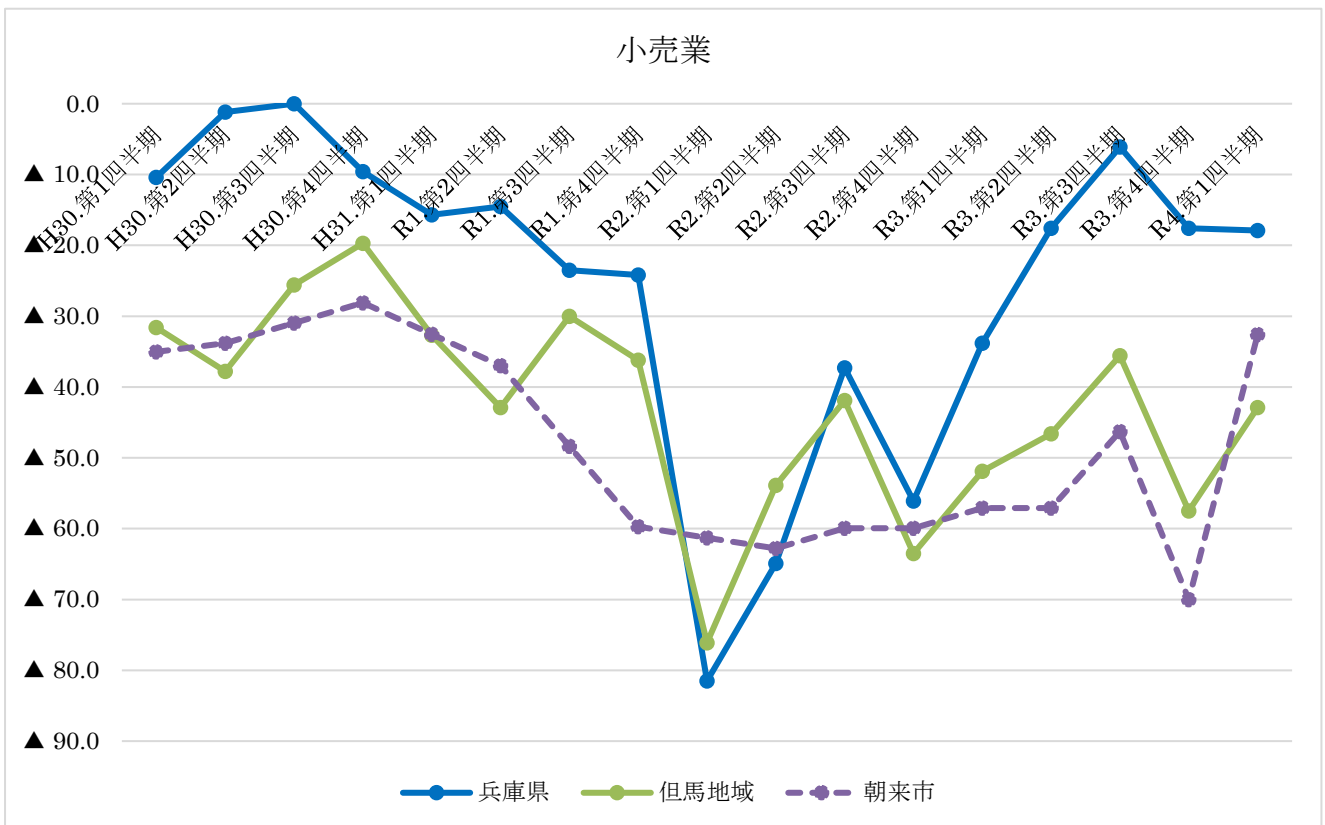
	件数	構成比
好転	6件	14.0%
不変	17件	39.5%
悪化	20件	46.5%

D. I. 値は改善しているものの、一方で不変と回答した事業所が増えており、コロナ禍の影響は続いています。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	▲17.9ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲42.9ポイント
朝来市	▲32.6ポイント

朝来市の D. I. 値が但馬地域を上回っており、前年度と異なった順位となっております。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域、朝来市は前年度同時期、前回調査と比較しともに改善しており、また朝来市はコロナ禍以降において最も高い数値となっています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	需要の停滞	材料仕入単価の上昇
2 位	需要の停滞	需要の停滞	利用者ニーズの 変化への対応	需要の停滞
3 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	材料仕入単価の上昇	利用者ニーズの 変化への対応

前回調査で上位に入った「材料仕入単価の上昇」が最も多い回答となりました。「需要の停滞」「利用者ニーズの変化への対応」も上位に残っており、コロナ禍の影響と物価高の影響の両方の課題に直面していると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	12 件
現状維持	26 件
事業承継への取り組み	5 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

（※2 件は未回答）

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂いた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	3件	33.3%
悪化	6件	66.7%
D.I.値	—	▲66.7ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	3件	33.3%
不変	2件	22.2%
悪化	4件	44.4%
D.I.値	—	▲11.1ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は好転と回答した企業がなく、厳しい状況が続いています。「飲食料品にかかる小売業、卸売業」のD.I.値は改善しましたが、製造とは異なりマイナス値を計上しています。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「好転」1件、「悪化」1件
- ・材料の卸売業（木材、石材など）…「好転」1件、「不変」1件、「悪化」1件

④サービス業（有効調査書数：77件）

○昨年(4～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内2件未回答)

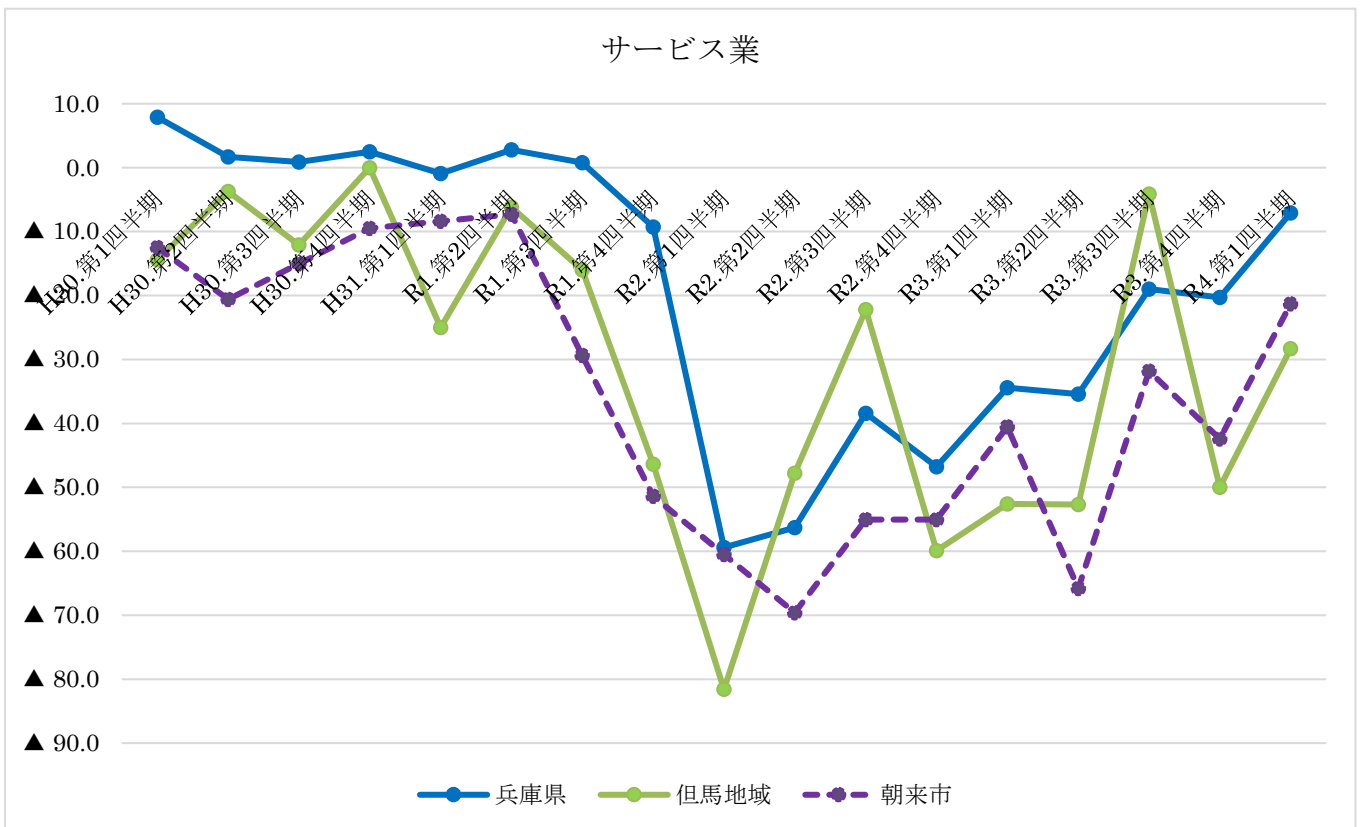
	件数	構成比
好転	13件	17.3%
不変	33件	44.0%
悪化	29件	38.7%

「悪化」と回答した事業者が減少し、D. I. 値も若干増加しています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲7.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲28.3ポイント
朝来市	▲21.3ポイント

前回調査(R4.1～R4.3)と同様、朝来市のD. I. 値が但馬地域を上回る結果となりました。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

小売・卸売業同様に前回調査、前年度同時期ともに改善を見せています。県下全域で改善となっており、行動制限が発令されなかったことが影響していると考えられます。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期
1 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	材料仕入単価上昇の上昇	材料仕入単価上昇の上昇
2 位	需要の停滞	材料仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3 位	材料仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化

「材料仕入単価の上昇」が前回同様に 1 位となり、他業種の例にもれず、原油価格や材料費の高騰の影響を受けていると考えられます。行動制限は発令されていませんがコロナ禍も続き、時代に合わせたニーズ対応も同時に求められています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	6 件
売上・事業拡大	25 件
現状維持	37 件
事業承継への取り組み	15 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	7件	43.8%
悪化	9件	56.3%
D.I.値	—	▲56.3ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	3件	42.9%
不変	2件	28.6%
悪化	2件	28.6%
D.I.値	—	14.3ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	2件	16.7%
不変	4件	33.3%
悪化	6件	50.0%
D.I.値	—	▲33.3ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	5件	41.7%
不変	4件	33.3%
悪化	3件	25.0%
D.I.値	—	16.7ポイント

4業種とも前回調査より改善は見られますが「飲食店」と「洗濯・理容・美容・浴場業」はD.I.値のマイナス計上が続いています。飲食店は「好転」と回答した企業が前回に引き続き0件、「不変」の割合が増えており、昨年同様厳しい状況下と考えられます。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	0	1	1	3	5
40代	9	10	2	17	38
50代	12	10	11	17	50
60代	11	18	14	22	65
70代以上	5	9	15	18	47

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	6	8	9	12	35
補助金・助成金の相談	20	25	23	37	105
各種認定について	5	6	3	6	20
IT化について	4	4	9	10	27
税務・労務について	7	5	4	11	27
特に相談等は無し	10	15	9	21	55

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	1	1	6	8
売上・事業拡大	13	22	12	25	72
現状維持	17	16	26	37	96
事業承継への取り組み	10	8	5	15	38
廃業検討	1	4	5	5	15

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	1	2	3
事業譲渡なども、全く考えていない	1	4	2	3	10

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	5	8	10	29	52
1人～5人	18	14	21	27	80
6人～10人	6	3	5	6	20
11人～20人	3	5	4	5	17
21人以上	5	15	1	3	24
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	20	19	6	21	66
適正人数である	12	17	20	24	73
雇い入れが過剰である	0	0	1	1	2
雇用していない・しない	4	8	11	22	45
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	14	15	19	26	74
1人～5人	16	19	15	36	86
6人～10人	0	3	0	7	10
11人～20人	1	7	3	2	13
21人以上	0	1	0	2	3
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	4	10	4	15	33
適正人数である	16	20	16	35	87
雇い入れが過剰である	0	1	0	0	1
雇用していない・しない	9	11	14	20	54
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	1	1

○令和4年4～6月と前年同期(令和3年4～6月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	4	11	6	13	34
	同じ	21	23	17	33	94
	悪化	11	14	20	29	74
売上	増加	8	4	0	0	12
	同じ	18	1	2	16	37
	減少	9	0	3	5	17
販売価格	増加	9	4	0	0	13
	同じ	19	0	4	1	24
	減少	6	1	1	1	9
仕入価格	増加	23	0	0	0	23
	同じ	6	3	0	0	9
	減少	5	2	0	2	9
資金繰り	好転	1	0	0	0	1
	同じ	29	0	0	0	29
	悪化	4	0	0	3	7

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	2	7	0	9
新規参入業者の増加	6	0	1	7	14
利用者ニーズの変化への対応	3	7	15	22	47
店舗施設の老朽化	2	11	11	22	46
人件費の増加	6	14	4	10	34
人件費以外の経費の増加	12	19	11	19	61
利用料金の低下・上昇難	1	3	3	9	16
材料等仕入単価の上昇	26	37	20	42	125
金利負担の増加	1	0	0	0	1
事業資金の借入難	1	0	1	7	9
従業員の確保難	15	19	6	17	57
熟練技術者の確保難	17	4	2	9	32
需要の停滞	10	11	19	17	57
その他	2	2	7	5	16

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org